

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	資料 日本・ラテンアメリカ関係日誌 1978年
Author(s)	
Journal	イペロアメリカ研究, 1(1)
Issue Date	1979-09-01
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/8913
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌——1978年

記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。出典の略号は次の通り。

新聞名	朝刊	夕刊
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE
日本経済	NK	NE
日経産業	NS	
ジャパントタイムズ	JT	
日本工業	NI	
東京	TK	

月日	国名	記事
1・5	ブラジル	日本鋼管、国営製鉄会社コンパニア・シデルルジカ・ナショナルに技術協力合意。2、3月中に契約調印予定。
1・8	パラグアイ	自民党二階堂進氏、政府特使として訪問。福田首相の親書持参。政府首脳と会談。(AH・MN)
1・9	コスタリカ	紀文、養鶏事業の合弁会社設立。(NS)
1・10	パラグアイ	外務省、エンカルナシオンに領事館開設。(YU)
1・11	メキシコ	日立製作所、石油汲上げ用大型モーター製造、販売の合弁会社メカテック設立。(MN・NK・NI)
1・11	メキシコ	花王石鹼、合弁会社キミ花王S. A.で、脂肪酸アミン工場、5月から営業開始。(NI)
1・12	ベネズエラ	エナルム産アルミニウムを年16万トン12年間日本に供給するための合弁会社設立。(NS・JT)
1・12	ブラジル	豊和工業、合弁会社ブラジル豊和工業を現地化。(NK)
1・12	ブラジル	シャープと富士通、ブラジル政府のミニコンピューター産業育成計画に技術協力。(NS・NI)
1・13	アルゼンチン	日本連合(丸紅・東芝・日立・三菱)ロカ線電化プロジェクトの改定契約結ぶ。(AH・NK・NS)
1・24	エクアドル	ビルカバンバ「国際健康村」第一期工事5月着手。(NK・JT)
1・25	ブラジル	東京重機、工業用ミシン現地生産来年開始。(NS)
1・31	ブラジル	石川島播磨重工、船上パルププラント完成。森林資源開発会社ジャリ社へ引渡し。(AH・YU・NS・NI)
2・1	仏領ギアナ	EC理事会、ギアナ沖エビ漁に漁獲数量割当て制導入決定。(AE)

		・MN・NK)
2・1	ブラジル	新日本製鉄、アソミナス社と操業技術指導で合意。(NS)
2・2	コロンビア	訪日中のラウル・グティエレス外国貿易庁次官、日本の輸入拡大を要請。(NS)
2・3	ベネズエラ	第一勸業銀行を主幹事とする国際銀行団、ベネズエラ政府に、12億ドルの協調融資決定。調印。(NI)
2・3	ブラジル	日本債券信用銀行、ブラジルインベスト社とバンコ・デ・インベスチメントスに、資本参加。提携書に調印。(AH・NS)
2・7	ブラジル	元労相千葉三郎氏、政府直轄地アマパの密林払い下げを直談判に出発。(AH)
2・8	アンデス	外務省、「北部アンデス地域経済使節団」を、ベネズエラ、コロンビア、エクアドルに派遣。(NK)
2・8	エルサルバドル	マルチネス外相、外務省賓客として来日。(YU)
2・12	メキシコ	メキシコ在住植物学者松田英二氏、ブラジルアでの学会の帰途、ペルーのリマで狭心症のため死去。84才。(YU・JT)
2・15	キューバ	通産省、51年11月以来停止していたキューバ向け輸出保険の引き受け再開決定。(YU・MN)
2・15	キューバ	日本興業銀行、東京銀行等外国為替銀行、キューバ国立銀行への100億円の協調融資に調印。(NK)
2・15	キューバ	ブリジストンタイヤ、横浜ゴム等タイヤ6社、キューバを含む共産圏向け輸出カルテル廃止を通産省に申請。(NS)
2・17	チリ	地熱技術開発社調査団、チリへの地熱発電企業進出のための調査結果発表。(NS)
2・17	コロンビア	訪問中の日本貿易代表団桜田武団長、コロンビアの対日貿易赤字縮小に協力を表明。(MN)
2・20	メキシコ	メキシコ政府、交換留学生として30名の日本人学生を、本年6月から来年3月まで招待。(JT)
2・20	ブラジル	日伯農業開発協力株式会社の発起人会、東京で開催。(MN・NK・NI)
2・21	ブラジル	「味の素インテルアメリカーナ」、環境汚染により工場長ら4人告発される。(ME)
2・21	アルゼンチン	ブエノスアイレス東南ウルクイザ移住地で、日系二世の女性(18才)惨殺される。(ME・YE)
2・24	ブラジル	日本航空、6月から1週1往復のブラジル便乗入れを表明。(YU)
2・24	アルゼンチン	ホセ・リベルテラ楽団、文化交流の一環として来日。コンサートを開く。(YE)

2・25	メキシコ	日本のマラソン選手団一行8人、強化合宿のためメキシコへ出発。(AH)
2・28	ブラジル	日清製粉、「日清製粉・ド・ブラジル」設立。(NK)
2・28	アルゼンチン	パタゴニア沖漁業でのメルルーサ試験操業決定。調印。(YU・NK)
3・5	ブラジル	青森県の「日伯水産商工」、サンパウロの日系二世経営の「水産漁業商工」と提携してブラジルの新漁場開拓に乗り出す。(NK・NS)
3・6	ブラジル	経団連、河本通産相に「アマゾン・アルミ開発計画」に対する政府の支援要請。(AH・MN・NK)
3・6	ブラジル	ピアニスト、バルボーザ初来日。リサイタルを開く。(YE)
3・6	パラグアイ	戸田建設、パラグアイ文部省から職業訓練センターの建設工事(約7億円)受注。(NI)
3・11	ブラジル	政府が国際協力事業団を通じて行なうビトリア都市計画協力の予備調査団出発。(NK)
3・11	南米	鉄鋼業界、ブラジル、チリなどでのペレット現地備蓄を決定。(AH・YU)
3・16	ニカラグア	西日本技術開発、モモトンボ火山地帯に電力庁が計画中の地熱発電所建設に技術協力。(NI)
3・16	ブラジル	川崎製鉄、ツバロン製鉄所建設に着工する覚書に調印。(AH・MN・NE・NS)
3・17	メキシコ	東京の人口、メキシコ市に抜かれて世界第2位に。(AH・MN・YU)
3・17	メキシコ	外務省辞令、免駐メキシコ大使和田力。(MN)
3・18	ブラジル	新日本製鉄など高炉各社、リオドセ社との鉄鉱石の来年度価格更改取引契約延長交渉まとまる。(NS・NI)
3・20	チリ	日本水産、三井物産、チリの漁業資本と合弁会社設立に合意。基本契約に調印。(NK)
3・20	コスタリカ	コスタリカ共和国駐日名誉総領事和田太計司氏死去。(NK)
3・21	ブラジル	日伯パルプ合弁生産事業のパルプ販売価格引き下げ合意。(NK)
3・23	ブラジル	日本アマゾンアルミニウム社、現地合弁会社設立決定。(NK・NS)
3・27	ペルー	歴史学者エドモンド・ギエン博士、読売新聞社の招待で来日。(YU)
3・27	チリ	チリ政府、日本水産に対して同国水域での操業と、魚の冷凍およびミール加工を許可。(NI)
3・28	メキシコ・コロンビア	「人口と開発列国国会議員東京会議」開催。メキシコ、コロンビア等参加。(AH・MN)

3・28	ラ	米	海外鉄道技術協力会、メキシコ、ブラジル、アルゼンチンなどに、交通輸送技術の専門家17人を派遣。(NI)			
3・29	ブ	ラ	ジ	ル	通産省・工業技術院、53年度からブラジルとアルコール製造技術の共同研究開始。(NS)	
3・31	ペ	ル	ー	日本のペルーに対する36億円の円借款供与書簡、リマで交換。(AH)		
4・4	メ	キ	シ	コ	松永信雄外務省官房審議官を駐メキシコ大使に決定。(AE・ME・NE)	
4・4	ブ	ラ	ジ	ル	東海染工、三菱商事、ブラジルのプリント加工合弁会社からの資本撤退を決定。(NK)	
4・5	メ	キ	シ	コ	日本興業銀行と東京銀行の参加する国際協調融資幹事団、メキシコ石油公社に10億ドルの協調融資。ロンドンで正式調印。(MN・YU・NK)	
4・6	中	米	パナマ、コスタリカ、グアテマラの大使館が入居する「サンシャイン60」ビル、池袋副都心にオープン。(YU・YE・NI)			
4・9	キ	ュ	ー	バ	キューバ作家芸術家同盟議長、詩人、ニコラス・ギリェン氏来日。(YU・TK)	
4・10	アル	ゼ	ン	チ	ン	海洋水産資源開発センターの海洋調査船、パタゴニア沖大陸だな水産資源調査のためブエノスアイレス出港。(MN)
4・13	ブ	ラ	ジ	ル	ブラジル日系一、二世からなる「ユバ・バレエ団」、移民70周年を記念して来日、公演。(YE)	
4・17	アル	ゼ	ン	チ	ン	東京銀行など外国銀行団、アルゼンチン石油公社に25,000万ドルの協調融資決定。(NI)
4・20	メ	キ	シ	コ	世界折紙展メキシコシティで開催。日本からも出品。(ME)	
4・27	ペ	ル	ー	「インカ帝国三千年展」東京で開幕。(YE)		
4・28	南	米	ケーナ奏者アントニオ・パントーハ来日、公演。(YU・YE)			
4・29	メ	キ	シ	コ	村山蔵相、森永日銀総裁、メキシコ市でのIMF暫定委員会に出席。(AH)	
4・29	ブ	ラ	ジ	ル	春の叙勲と賜杯受賞者、ブラジル移住70周年を記念して、現地の日系人を中心に107名決定。稲村総務長官、叙勲伝達のためブラジルへ出発。(AH・MN・NK)	
5・2	ブ	ラ	ジ	ル	総理府、ブラジル移民70周年を記念して「日本・ブラジル青年親善交流事業」企画。参加者10人募集。(MN)	
5・4	ブ	ラ	ジ	ル	日本航空、東京ーリオデジャネイロ線の路線開設免許を運輸省に申請。(NK)	
5・6	ペ	ル	ー	ペルー政府が東京大学に依頼した、ピサロのものと思われる人骨の鑑定結果出る。(YU)		

5・8	ブラジル	石川島播磨の「浮かぶバルブ・プラント」船、アマゾン河口に着、設置。(AH・NK・NS)
5・9	ベネズエラ	駐ベネズエラ大使に、野村豊外務省官房調査部長。(YE・NE・JT)
5・10	アルゼンチン	タンカーとの衝突で沈没したアルゼンチン漁船に乗り組んでいた日本人3名行方不明。(AE・ME・YE)
5・11	メキシコ	来日中のデ・ラ・ラマメキシコ観光相、福田首相を表敬訪問。(AH・YU・NK)
5・12	ベネズエラ	シルバベネズエラ蔵相、円建て国債発行契約調印のため来日。(AH)
5・12	ブラジル	日本電気、電子交換機製造のため合弁会社設立。(NK)
5・16	ブラジル	運輸審議会、東京ーリオデジャネイロ線の申請認可。(AH・MN・NK・NI)
5・16	ブラジル	ブラジル下院、日本人移住をテーマとしたシンポジウムを開く。(NE)
5・17	ブラジル	ブラジル国立経済開発銀行、160億円の円建て外債発行引受契約に調印。(MN・NI)
5・17	エルサルバドル	合弁企業インシンカの日本人社長松本不二雄氏、極左グループ全国抵抗武装軍(FARN)に誘かい。(AH・MN・YU・NK)
5・20	エルサルバドル	FARN、政治犯釈放と身代金要求。(AH)
5・20	ペルー	水産庁、ペルー等、国際捕鯨協定非加盟国からの鯨肉輸入禁止。(YU)
5・21	エルサルバドル	FARN、治安維持法の撤廃要求。(AE・JT・YE・MN・NK)
5・21	ブラジル	静岡県立磐田農業高校、サンパウロ市周辺に海外実習農場を作る計画。(MN)
5・22	エルサルバドル	エルサルバドル政府、FARNの政治犯釈放要求拒否。福田首相、ロメロ大統領あてに、松本さんの安全救出を求める書簡を送る。(YE・NE・JT)
5・22	ブラジル	国際協力事業団、ミナス、ゴイアス、エスピリト・サント3州の総合開発計画に協力に合意。(NE)
5・25	ペルー	滋賀県湖西の自然保護グループ、来年5月、アンデス山脈最高峰ワスカラン登山を計画。(YE)
5・26	チリ	日魯漁業、チリでのサケの養殖事業に乗り出す。(NK)
5・26	ベネズエラ	日立製作所、ベネズエラ電力開発公団グリ発電所用、世界最大73万キロワット水車完成。(NS)
5・26	ブラジル	全国農協直販、コチア産業組合と提携してコーヒー飲料を売り出す。(MN・NK・NS)

5・27	メキシコ	メキシコ国立大学、大学院レベルの日本人奨学金留学生募集。(MN)
5・30	メキシコ	メキシコ政府から、沖縄海洋博記念水族館へ、珍獣マナティー空輸。(MN)
5・30	ブラジル	急逝した東郷青児画伯最後の大作「ブラジル移民」、6月にサンパウロ市でオープンする「日本移民資料館」に寄贈。(ME)
5・30	ブラジル	訪日中のペロゾ・ブラジル企画庁長官、アマゾン・アルミ計画、農業開発計画の企業化、6月調印を発表。(MN・NK・YU・NI)
5・31	ベネズエラ	ペレス大統領、オリノコ川流域石油資源開発のための日本のパイロット・プロジェクト建設申出受け入れを表明。(NK)
6・1	メキシコ	6月に予定していた円建てメキシコ国債、発行延期。(NI)
6・1	ブラジル	田村電機製作所、現地法人「ダルマ通信」をブラジル企業に衣替えを決定。(NK・NS)
6・1	仏領ギアナ	EC、ギアナ沖EC200カイリ水域での日本漁船エビ漁、7カ月、285トンの範囲内で暫定操業継続を許可。(AE)
6・2	アルゼンチン	風刺画家モリナ・カンボスの展覧会、東京で開催。(YU)
6・6	メキシコ	クラリオン、CBトランシーバーのオーディオ・エレクトロニカ・デ・メヒコへの輸出開始。(NK・NS)
6・6	コロンビア	コロンビア外国貿易理事会、耐久消費財中心に対日輸入制限措置を決定。(MN・NK・NI・NS・AH)
6・8	コロンビア	ボゴタでの学生街頭デモに巻き込まれ、同国駐在大使館の駒井茂二等書記官負傷。(ME・NE)
6・8	エルサルバドル	サンサルバドル高裁、FARN要求の治安維持法違反者の保釈決定。(ME・YU)
6・8	ブラジル	サンパウロ市内ブラジル日本文化協会で、「日伯新時代と国際交流シンポジウム」始まる。(MN・ME)
6・9	中米	日本興業銀行を幹事とする外国為替銀行8行、中米経済統合銀行への2,000万ドルの協調融資契約調印。(NK)
6・9	ベネズエラ	昭和軽金属ら6社とガイアナ開発公団、合併建設のアルミ精錬工場第一期工事完成。(NS・JT)
6・12	ブラジル・パラグアイ	皇太子ご夫妻、ブラジル・パラグアイへ親善訪問。(AE・ME・YU・NK・JT)
6・12	トリニダード・トバゴ	マハビア蔵相、日本で初めて発行する円建て私募債の調印式出席。(AH)
6・12	ラ米	ブラジル移民70年を記念して日系マスコミ各社代表、サンパウロで第5回海外日系新聞協会年次総会開催。メキシコ、アルゼンチンからも参加。(YE)

6・13	パラグアイ	皇太子ご夫妻、日本皇室初の公式訪問で、首都アスンシオン到着。 (AE・ME・YE・YU・NK)
6・13	メキシコ	日本・メキシコ議員連盟の結成式行なわれる。(NK)
6・13	トリニダード・トバゴ	訪日中のマハビア財務担当兼石油鉱山相、福田首相を表敬訪問。 日本の技術協力を要請。(MN・YU・NK)
6・13	ブラジル	国際協力事業団、ブラジル政府と共同で、ミナス・ジェライス州 に5万ヘクタールの農地を造成する開発会社設立決定。(AH)
6・15	パラグアイ	イグアス移住地で日系人2名、現地の秘密警察に「予防拘束」。 (AE)
6・15	ブラジル	全国農協中央会のブラジル農業開拓「新コチア青年移住」募集、 定員を大きくわる。(NK)
6・16	ハイチ・メキシコ	兼ハイチ駐在メキシコ大使に松永信雄氏。(YU)
6・16	メキシコ	三菱商事、ペメックスと、「価格条件があれば原油を購入する」 との仮契約結ぶ。(NS)
6・16	アルゼンチン	日本連合、パタゴニア沖の試験操業で、対象魚種をメルルーサか ら豊漁のマツイカに替える方針。(NS)
6・18	ブラジル	ブラジル日本移民70周年記念式典、皇太子ご夫妻、ガイゼル大 統領を迎えてサンパウロで開催。(AH・MN・YU・NK)
6・19	メキシコ	東京銀行を主幹とする邦銀21行、国立開発銀行に、2億6,500 万ドルの融資。正式調印。(NK・JT)
6・19	チリ	同和鉱業、三菱金属、三井金属鉱業が1,000万ドル融資している ミネラ・サガスカ社、経営不振のため破産申請。(NI)
6・19	ペルー	日本ペルー石油、ペルー石油公社から、年内にも原油輸入開始。 (NS)
6・19	ブラジル	海外邦人小中学校図書贈呈運動、第2便でブラジルへ6,700冊。 (MN)
6・20	ブラジル	日伯合弁のアマゾン・アルミ開発、正式調印。(AH・YE・NE・ NI)
6・20	ブラジル	日航のブラジル線一番機、成田から飛び立つ。(AH・YU)
6・20	ブラジル	日伯紙パルプ資源開発、現地合弁企業「セニブラ」の全面的見直 しに踏み切ることで、ブラジル政府、リオ・ドーセ社と合意。 (NK・NS)
6・22	ブラジル	東京芝浦電気、東芝メディカル・ド・ブラジルで今秋から汎用X 線直接撮影装置生産。(NI)
6・26	パナマ	国際捕鯨委員会年次総会での「商業捕鯨全面禁止」パナマ提案は 回避。(AH・ME)
6・28	カリブ	バルバドスのフォード外相、カリブ共同体諸国に対する日本の援

		助政策を非難。(NK)
6・28	メキシコ	石油公社、円高のため円建て外債の9月発行を延期。(NK)
6・28	ブラジル	日本のエビトロール漁船3隻、領海侵犯の疑いで、ブラジル海軍にだ捕。(NK・NE)
6・29	エルサルバドル	エルサルバドル政府、ゲリラ側の残した文書から、「松本社長死亡の可能性強い」と発表。(AE・ME・YE・NE)
6・30	エルサルバドル	園田外相、エルサルバドル政府に、松本社長の捜査続行を要望。中米三菱商事、ゲリラの攻撃に備えて邦人家族全員の国外避難決定。(NE・YU)
6・30	ボリビア	駐ボリビア大使に、林屋永吉外務省調査部参事官。(AE・ME・YE・NE)
7・1	ベネズエラ	駐ベネズエラ大使館参事官に角田勝彦外務省移住課長。(NK)
7・1	ブラジル	駐サンパウロ総領事に辻羊三駐パラグアイ大使館参事官。(NK)
7・10	アルゼンチン	ブエノスアイレスで日本の業者イカの買付けに殺到。価格高騰。(MN)
7・10	ブラジル	日本の銀行団、ツバロン製鉄に7億ドルの長期借款。(NE)
7・11	ブラジル	移住した小野田さん夫妻、福田首相を官邸へ訪問。(AH・YU)
7・12	パナマ	三菱重工、パナマ向け多目的クレーン船完成、引渡し。(NS)
7・16	ペルー	初の日系国会議員誕生。(AH・YU)
7・17	ブラジル	タマノ井酢、シャリベイラ社と合併で「有限会社タマノイ・ド・ブラジル」設立。食酢生産開始。(NS・NI)
7・17	ブラジル	青木建設、サンパウロ市での大規模都市開発に来年から着手。(NI)
7・18	メキシコ	「古代メキシコ文明展」東京で開催。(AE・TK)
7・20	ペルー	外務省人事。命帰国、ペルー大使木本三郎。(YU)
7・21	メキシコ	日産自動車、鑄造工場完成。現地での車両一貫生産体制完了。(AH・JT・NI)
7・22	ブラジル	関西化学機械製作、パラナ州で合併会社設立。アルコールの製造販売に乗り出す。(NS)
7・25	アルゼンチン・ パラグアイ	アルゼンチン・パラグアイ共同ヤシレタ水力発電所建設公団のペゴラーロ総裁一行来日。日本輸出入銀行や都銀に融資要請。(NS)
7・26	ブラジル	日立製作所、ブラジルフィルコ社と技術援助契約調印。(AH・NK)
7・28	キューバ	第11回国際青年学生祭開催、日本を含む146カ国参加。(MN)
7・28	ブラジル	日系一世、画家マベ・マナブ来日。個展を開く。(AH・YU)
7・28	ブラジル	保利衆院議長と各党国対委員長、ブラジル訪問。(YU・NK)
7・28	ブラジル	滋賀県、農業高校生、農業大学生ら26人をブラジルに派遣。(MN)

7・30	チ	リ	日本とチリ、技術協力に合意。サンチアゴで調印。(JT)
8・1	ニ	カラグア	外務省人事。帰国命令、駐ニカラグア大使谷新太郎。(AH)
8・1	ブ	ラジル	訪問中の保利衆院議長一行、ガイゼル大統領を表敬訪問。(YU)
8・2	ラ	米	日本教育書道連盟と日本書道美術館、ブラジル移住70年を記念して、ブラジル、ペルー、アルゼンチン、メキシコで「現代日本書道展」を開く。(MN)
8・2	アル	ゼンチン	グルサ海洋庁次官、オキアミ共同加工工場建設を提案、協力要請。(NK)
8・4	ブ	ラジル	新日本製鉄、アソミナス社の操業指導に合意。(NI)
8・4	ブ	ラジル	川崎製鉄、フィリピン・ミンダナオ島の同社の工場と付属港湾施設を、ブラジルが中国へ輸出する鉄鉱石の輸送中継基地とすることで、ブラジル政府と合意。(NS)
8・8	ブ	ラジル	川崎重工、デジニ・メタルルジカル社と合弁エンジニアリング会社設立を決定。(NS)
8・8	ブ	ラジル	カルモンデサー商工相、日本銀行団とツパロン製鉄所との7億ドルの借款交渉決着を発表。(NE)
8・11	ニ	カラグア	駐ニカラグア大使に、岩瀬幸在レシフェ総領事。(AH・MN・YE・NE)
8・11	コ	ロンビア	駐コロンビア大使に、伊藤政雄駐ドミニカ大使。(AH・MN・YE・NE)
8・12	コ	ロンビア	かぼんメーカー、エース、コロンビアから牛皮製かぼん類の輸入開始。(NS)
8・14	ブ	ラジル	サンパウロ総領事に、伊藤義文アトランタ総領事。(AH・YU)
8・15	ペ	ルー	駐ペルー大使に、長崎弘、前国際協力事業団理事。(AH・ME・YE・NE)
8・16	アル	ゼンチン	クリスティーナとウーゴ、フォルクローレ・コンサート、東京で開催。(YU・YE)
8・17	ブ	ラジル	アマゾンの日本人移住地から大島孫鷹君、心臓病手術のため再来日。(AH)
8・21	ラ	米	日本ラテンアメリカ婦人協会主催、「ラテン・アメリカ婦人ともども一児童画交換展」東京「こどもギャラリー」で開かれる。(AH)
8・21	アル	ゼンチン	鈴木元農相、荒勝海外漁業協力財団理事長ら訪問。マルチネス経済相らと、パタゴニア海域での農業協力について協議。(YU)
8・22	エル	サルバドル	左翼ゲリラFARN、誘かいしたスウェーデン人電話会社社長の解放条件の1つとして、日本の2新聞が「政治宣言」全文掲載することを要求。毎日新聞と朝日イブニングニュースこれに応じる。(NE)

8・22	アルゼンチン	三菱商事ブエノスアイレス支店駐在員、自宅アパートから飛び降り自殺。(AE・ME)
8・23	アルゼンチン	経済省、日本等外国銀行からの借り入れを、期限を2年早めてこの9月に完済する意向を発表。(MN)
8・26	メキシコ	全国漁業協同組合連合会、メキシコから漁船燃料用A重油の大量輸入を計画。石油公社と基本的に合意。(NK)
8・29	チリ	リビアナ・アン政府観光局長訪日。記者会見で日本人観光客誘致に意欲を見せる。(NS)
8・29	ブラジル	日伯共同ベレット製造工場「ニプラスコ」完成。(NS)
8・30	アルゼンチン	「国連開発途上国間技術移転会議」ブエノスアイレスで開幕。日本政府代表も参加。(AH)
9・1	ラ米	外務省人事。兼ガイアナ駐在ベネズエラ、グレナダ、スリナム、トリニダードトバゴ大使、野村豊。(YU)
9・1	ブラジル	日伯共同アマゾン・アルミ開発現地会社「アルプラス」「アルノルテ」発足。(YU・JT)
9・2	アルゼンチン	フラギオ駐日アルゼンチン大使、将来の穀物輸出増大に、日本の協力要望。またアルゼンチン進出を希望する日本人漁業関係者に、移住地用意を提案。(AH)
9・4	ブラジル	日本輸出入銀行、ブラジル銀行に30億円のバンクローン決定。調印。(MN・NK・NI)
9・5	ラ米	桜内建設相、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ訪問に出発。(AH・NI)
9・5	ブラジル	セラード日伯共同開発のブラジル出資会社「プラスアグロ」発足。(NE)
9・5	ブラジル	ブラジル映画祭、東京で開催。最近3年間の秀作5本上映。(AE)
9・7	ボリビア	日本政府、消化器疾患研究センター設立のため、ボリビア政府に8億円の無償援助決定。(NI)
9・7	キューバ	第8回女子バレーボール世界選手権で、日本、キューバに敗れる。(AH・YU・JT)
9・7	ブラジル	ノゲイラ運輸相、日伯直行便開設記念で来日。リオーサンパウロ間高速鉄道建設のため日本の技術協力要請。(YU・NK・NI)
9・8	南米	文部省、エルサルバドル、エクアドル等に日本人学校を新設する予算要求提出。(AH)
9・8	ペルー	ペルー政府、読売新聞社務台光雄社長と橘英雄専務に、特別功労章を贈る。(YU)
9・10	ペルー	国際収支難のため、日本、欧米に「公的債務」の返済繰り延べを要請。(NK)

9・11	パナマ	新日本製鉄、総合商社6社と共同で、「ニッポン・マリン・インターナショナル」設立。(NS・NI)
9・11	ブラジル	ブラジル政府、日本電気に、ラジオ放送網づくりへの参加を要請。(NK)
9・18	ブラジル	イゲイラ運輸相、6年以内にリオサンパウロ間に日本の新幹線導入との見通しを発表。(NK・NI)
9・19	ニカラグア	内戦状態で、日本人41人全員無事を確認。(YU)
9・19	コロンビア	誘かいされていた日系牧場主の遺体発見。(AE)
9・20	メキシコ	土光経団連会長、石油公社の招きでメキシコ訪問。(AH・MN・YU・NK・NI)
9・21	ブラジル	移住70年を記念して、サンパウロ美術館展、日本各地を巡回。(MN)
9・22	メキシコ	ディアス・セラ石油公社総裁、土光経団連会長との会見で、日本に石油を売る意志を正式表明。(AH・AE・MN)
9・25	ペルー	鉱山公社、チンタヤ銅鉱山開発の国際入札に、日本の応札を要請。(NS・NI)
9・27	メキシコ	メキシコ政府、米国太平洋側200カイリ内水域の6万6,260トンの漁獲割当量を、日本との共同事業方式で水揚げしたいと申し入れ。(NK)
10・3	ペルー	カルデロ鉱山公社総裁、ウエスビー・サウザンペルー社財務担当取締役来日。産銅5社と交渉にはいる。(NI)
10・4	ブラジル	日本貿易振興会、池袋ワールド・インポート・マート・ビルで「ブラジル展」開催。(YU・NS・NI)
10・4	エルサルバドル	ゲリラに誘かいされたインシンカの松本社長、サンサルバドル市郊外で遺体で発見。(AE・ME・YE・NE)
10・5	メキシコ	メキシコ国立民族舞踊団来日。東京で公演。(AH・AE)
10・5	キューバ	砂糖公団、精糖の輸入増量と長期契約延長を要請。(NI)
10・6	ラ米	宝塚歌劇団、メキシコ、アルゼンチン、ブラジルでの公演旅行に出発。(AE・ME)
10・6	パナマ	日本海重工業、セブン・シーズ・ SHIPPING社向け木材運搬船引き渡し。(NS)
10・10	チリ	日本水産、チリ沖トロール漁のための現地合弁漁業開発会社設立。(YU・NS)
10・11	メキシコ	日本政府、来日するロベス大統領の国賓接遇を決定。(AE・YE・NK)
10・11	コロンビア	日本とカナダの援助で、マグロ漁業会社設立。(NI)
10・13	メキシコ	三菱商事、石油公社と、原油輸入契約結ぶ。(MN・YU・NS)

10・13	エルサルバドル	インシンカの松本社長の遺骨、家族とともに帰国。(AH・MN・NK)
10・14	メキシコ	メキシコ政府、奨学金留学生3名を募集。(MN)
10・16	ボリビア	民族音楽グループ、サビア・アンディーナ来日、公演。(ME・NE)
10・17	ベネズエラ	新日本製鉄、シドール(国営製鉄所)に技術協力、仮調印。(NK)
10・17	ブラジル	ブラジル政府、新日本製鉄の斎藤社長と日商岩井の植田社長に、「リオ・ブランコ勲章」を授与。(NS・NI)
10・17	ブラジル	伊藤忠との合弁会社「カリベ・S・A・インダストリア」サンパウロ地裁に和議法適用を申請。(NK・NI)
10・19	メキシコ	来日中のセラノ石油公社総裁、河本通産相と会談。(NK)
10・19	アルゼンチン	東海銀行等日米欧16行から成る協調融資団、アルゼンチン開発銀行に、4,000万ドルの融資。調印。(NS)
10・19	ブラジル	古河電気、現地法人「古河ブラジル」の通信ケーブル工場完成。(NI)
10・20	メキシコ	メキシコの放送開始50周年を記念して、ラテン音楽評論連合から、邦人のラテン歌手や評論家に、表彰状贈られる。(AE)
10・22	ブラジル	アマゾニア産業研究所理事長、元代議士、上塚司氏死去。(AE・YU・NK・NS)
10・23	メキシコ	国際建築家協会第13回世界大会開催。丹下健三氏ら参加。(YE)
10・24	ブラジル	ツパロン製鉄所建設への7億ドルの借款協定、日本の銀行団とブラジル政府との間で正式調印。(AH・MN・NK・NI)
10・25	ブラジル・パラグアイ	慶応大学医学部国際医学研究会第一次ブラジル派遣団、ブラジル・パラグアイの1か月半の医療視察から帰国。(ME)
10・25	アルゼンチン	第23回チェス・オリンピック大会、ブエノスアイレスで開催。日本からも男女10人参加。(ME)
10・26	メキシコ	第10回日墨経済協議会開催。日墨共同投資基金設立で合意。(AH・MN)
10・27	キューバ	古河鋳業、ボウリング機械12台を輸出。(NS)
10・27	ドミニカ	ドミニカ共和国大使に、前田正裕衆院渉外部長。(AE・ME・NE)
10・28	ブラジル	川崎製鉄、ツパロン製鉄所へ供給する設備の契約結ぶ。(NS・NI)
10・30	メキシコ	ロペス・ポルティエーリョメキシコ大統領来日。(AE・YE)
10・30	メキシコ	日魯漁業と伊藤忠、日墨合弁漁業会社「アビスール」設立。(AH・MN・YU・NK・NS)
10・31	メキシコ	ロペス大統領、園田外相、河本通産相との懇談で、原油値下げを拒否。(AH・MN・NK)

11・1	メキシコ	官民合わせて10億ドルの大型借款供与正式決定、調印。(NI)
11・1	メキシコ	日本・メキシコ観光協定調印。(MN・YU・NK)
11・2	メキシコ	来日中のロベス大統領、福田首相と会談、共同コミュニケ発表。 (ME)
11・2	ブラジル	リオデジャネイロで開催中の世界学生柔道選手権大会、78キロ以下級で日本優勝。(AH)
11・4	メキシコ	ロベス大統領離日。(AH・MN・YU・NK)
11・4	エクアドル	ビルカバンバにサナトリウムや診療所を建設する「ジャパンヒルズ委員会」の計画、エクアドル政府正式認可。(YU)
11・5	メキシコ	メキシコ産原油輸入第一号を積んだタンカー、尾鷲港入港。(NK)
11・7	ウルグアイ	駐ウルグアイ大使に、椋本伊三郎駐エチオピア大使。(YE・NE)
11・7	ブラジル	日本航空のブラジル線開設招待飛行に、日本政財界から53名参加。(NI)
11・8	ベネズエラ	円建て債、発行条件決定。(NK・NI)
11・9	アルゼンチン・ ブラジル	第49回都市対抗野球大会に優勝した東芝野球部、アルゼンチン、ブラジルへ遠征。(MN)
11・9	ブラジル	日伯農業開発(セラード開発)契約調印。(MN・YU)
11・9	ブラジル	東邦レーヨン、製糸合併会社ミナシルク繊維工業から資本撤収。 (NK)
11・10	ポリビア	日産自動車、小型乗用車輸出。(NI)
11・10	ペルー	来日中のシルバ経済相、ペルーへの直接投資の拡大を要望。(NK・JT)
11・10	ブラジル	東洋紡績、繊維合併会社「カリベ・S・A・インダストリア」への技術援助打切る。(NK)
11・10	ブラジル	心臓病と骨がんにおかされた日系三世兄弟、二宮タケシ君とケンジ君、手術のため来日。(AH)
11・14	ニカラグア	ジューミ地熱発電所の国際入札に、日本の3グループ応札。(NS)
11・14	ブラジル	青木建設、リオデジャネイロ市に、グアランタン社と合併で24階建てホテル完成。12月オープン。(NS・NI)
11・15	ブラジル	ブラジル国会に、日系初の4選議員登場。(NK)
11・15	ブラジル	三和銀行、連邦鉄道公社に、3,600万ドルの協調融資。(NK)
11・17	ラト	駐パラグアイ大使に、内藤武中南米担当審議官。中南米担当審議官に、伊達宗起内閣調査室次長。(ME)
11・17	中米	海外建設協会、メキシコ、グアテマラ、エルサルバドル、パナマへ、「中米地域建設企業進出基礎調査団」を派遣。(NI)
11・17	ブラジル	東洋曹達、住友商事、兼松江商、共同出資の樹脂加工会社「トーソー・ド・ブラジル」を解散。(NK)

11・18	アルゼンチン	ブエノスアイレス州の湖で魚釣りをしていた4人の日本人のうち、1人水死、1人行方不明。(AE)
11・20	ラ 米	石油鉱業連盟、メキシコ、チリ、アルゼンチンへ、実務レベルの調査団派遣。(NK)
11・21	メ キ シ コ	日商岩井、メキシコから中国向けの肥料輸出の、仲介に成功。(NK・JT・NI)
11・24	ブ ラ ジ ル	日本債券信用銀行など融資団、東北地域開発庁に、円建て200億円貸付。(NK・JT)
11・28	アルゼンチン	来日中のゲバラ海洋庁長官、日本との漁業合弁事業に期待を表明。(MN)
12・1	ペ ル ー	リマ市内の高速道路で、ペルー運輸通信省に派遣されていた高野進一さん事故死。(YU)
12・2	エルサルバドル	オランダ人支配人を誘かいしたゲリラグループFARN、世界34か国の主要新聞に、「声明」掲載を要求。日本経済新聞、2ページにわたる全面広告として原語で全文掲載。(ME・YU・NE・JT)
12・6	パ ナ マ	東京銀行ほか27金融機関、150億円の円建て協調融資契約結ぶ。(AH・NK・NI)
12・6	ブ ラ ジ ル	心臓手術のため来日中の日系三世二宮タケシ君、手術成功。(AH)
12・7	エルサルバドル	合弁会社「インシンカ」の経理担当重役鈴木孝和さん、FARNに誘かいされる。(AH・ME・NE・YE)
12・7	ペ ル ー	1924年リマ生まれのドナルド・リチー油絵個展開催。(AE)
12・8	エルサルバドル	林祐一大使、カスティージョ国防相に、鈴木さんの安全救出を要望。 大平首相も、ロメロ大統領あてにメッセージを送る。(YE)
12・8	パラグアイ	日本電気の小林会長、パラグアイ政府からコメンダドール勲章を贈られる。(NI)
12・9	エルサルバドル	FARNからの要求書と、鈴木さんの自筆の手紙届く。(AH・MN・YU)
12・9	ブ ラ ジ ル	日本サッカー協会と日本ブラジル青少年交流協会、サンパウロ州選抜ユース・チームを招待。(AH・YU)
12・11	ブ ラ ジ ル	リオデジャネイロで開かれたビラ・ロボス国際指揮者コンクールで、小原全氏、三位入賞。(AE)
12・11	ラ 米	中南米大使会議、外務省で開催。中南米19か国の大使ら出席。(AE・YE)
12・14	エルサルバドル	インシンカ社の邦人社員の家族帰国。(AE)
12・16	コ ロ ン ビ ア	コロンビアで印刷した日本語版絵本の逆輸入急増。(NK)
12・16	アルゼンチン	アルゼンチンから、池袋サンシャイン・シティ国際水族館へ空輸

		中のパンダイルカ、米国で国内法にふれ、出国停止。(AH・MN・YU)
12・19	エルサルバドル	インシンカ社、ゲリラの「声明」を、広告として現地紙に白紙掲載。(YU)
12・20	メキシコ	日立製作所、家電メーカーフィルコ社にカラーTV生産技術供与。(NK)
12・21	ブラジル	ソニー、パラナ州にVTRの一貫生産工場を建設。(AH・MN・NI)
12・22	パナマ	育児用品メーカーピジョン、2つの全額出資子会社設立。(NS)
12・22	メキシコ	三菱電機、IEM社と、電车用モーターの技術提携契約結ぶ。(NS)
12・23	メキシコ	1955年からメキシコ音楽著作権協会駐日代表をつとめた場実さんに、ロペス大統領からアギラ・アステカ勲章贈られる。(AH)
12・26	パラグアイ	日本政府、パラグアイ政府に75億円の円借款供与。アスンシオンで調印。(JT)
12・28	エルサルバドル	FARN、鈴木さん他誘かいした外国人4人生存を示す写真を公表。(AH・MN)

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	資料 日本・ラテンアメリカ関係日誌 1979年
Author(s)	
Journal	イペロアメリカ研究, 2(2)
Issue Date	1980-10-09
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/17513
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌——1979年

月 日	国 名	記 事
1・ 1	ブ ラ ジ ル	日本電気、半導体の組み立て生産今年から本格的に開始。(NS・NK)
1・ 3	エルサルバドル	合併企業「インシンカ」社の鈴木孝和取締役らを誘かいした左翼ゲリラFARN。鈴木さん解放の交渉進行中を声明。(YU・JT)
1・ 5	ブ ラ ジ ル	山口県徳山市から姉妹都市サンパウロ州サンベルナルドカンポ市に贈られた2千年前の古代ハス(大賀ハス)の種子が発芽。(AE)
1・ 6	ブ ラ ジ ル	エスピリトサント州集中豪雨により、鉄鉱石輸出の船積み停止状態、日本鉄鋼各社に不可抗力条項の適用を通告。(NE)
1・ 7	メ キ シ コ	アラスカ州政府、アラスカ原油を対日輸出、交換にメキシコ原油を受け入れのスワップ計画を推進。(NK・YU・AH・JT・ME)
1・ 7	ベ ネ ズ エ ラ	世界ジュニアフライ級チャンピオン具志堅用高同級世界1位ゴベルト・マルカーノにKO勝ち。(川崎)(AH・YU)
1・ 9	エ ク ア ド ル	54年度予算案によりキトに日本人学校新規開校が決定。(AH)
1・ 9	ボ リ ビ ア	天然ガス鉱業会、2月初旬天然ガスの技術調査団派遣を決定。(NS)
1・ 9	メ キ シ コ	帰国中のオレア駐日大使、80年以降原油1日当たり20万バーレル以上対日輸出を表明。(NE・NS・AH)
1・ 9	パ ナ マ	世界フェザー級チャンピオン エウセビオ・ペドロサ同級2位ロイヤル・小林にKO勝ち。(東京)(AH・JT・MN)
1・10	ブ ラ ジ ル	外務省人事、命帰国、藤田守駐ポルトアレグレ総領事。マナウス領事に高松源次郎駐サンパウロ領事。(MN・YU)
1・10	ブ ラ ジ ル	大日精化工業、子会社「ダイカラー・ド・ブラジル」で合成樹脂用着色剤の年内生産開始方針を固める。(NS)
1・10	ブ ラ ジ ル	新日本製鉄、ブラジル国営製鉄所CSNに「混銑車脱硫設備」等、総額20億円の受注契約を結ぶ。(NI・AH・NS)
1・11	ラ 米	外務省中南米局新設が決定。(AH・ME・AE・YE)
1・11	メ キ シ コ	厚木自動車部品、現地3社と合併で「アツギ・メヒカーナ」を3月1日付で設立を表明。(NI)
1・11	メ キ シ コ	在日メキシコ政府観光審議会、メキシコ旅行のモニター募集。(AE)
1・13	ブ ラ ジ ル	「オーパノ」著者、開高健氏を案内、取材協力した森昭夫さん現地人に射殺される。(MN・YU)
1・15	メ キ シ コ	経済団体連合会、経済協力、原油購入等協議のため使節団を派遣。(NK)

1・16	ブラジル	富士銀行、安田信託銀行、ケミカルバンク等、米国3銀行と、リオドセ社向け3,000万ドルの協調融資実施を発表。(NK)
1・16	メキシコ	外務省人事。アジア局調査官に大島弘輔駐メキシコ参事官。(NE)
1・17	メキシコ	経団連メキシコ経済使節団、経済協力を調整、推進する窓口設置でメキシコ政府首脳と合意。(NE)
1・17	メキシコ	日本ねじ工業協会、2月10日から3週間、米国、カナダ、メキシコへ市場転換の為調査団を派遣。(NS)
1・18	メキシコ	メキシコ政府、対日輸出原油価格引き下げ困難を表明。(NK)
1・18	メキシコ	経団連メキシコ経済使節団、四政府機関代表「四人委員会」とラサロ・カルデナス臨海工業地開発計画の経済協力で合意。(NE)
1・19	チリ	新日本製鉄などの大手鉄鋼各社、アルガロボ・ペレット工場の完成、同ペレットの本格引取り開始に対応のため技術調査団を派遣。 (NS)
1・22	ベネズエラ	オリエント・リース(OLC)、シネロス・グループと合併でリース会社「オリエント・リーシング・デ・ベネズエラ」設立。2月より営業開始。(NI・NK)
1・22	チリ	大蔵省、チリ政府が東京で総額100億円の私募債を3月頃発行を発表。(NE)
1・23	ブラジル	川崎製鉄、コブラップ社と3大官営製鉄所の一つコジッパの高炉改修技術契約を結ぶ。(AH・NK・NS)
1・23	ブラジル	国鉄の海外鉄道技術協力協会、ブラジル連邦鉄道公社と向こう2年間の技術協力契約に調印。(YU)
1・24	エルサルバドル	誘かい事件防止に備え、東洋紡系合併企業「ユサ」、日本人社員12家族、43人帰国。(YU)
1・24	エルサルバドル	日本貿易振興会(ジェトロ)、サンサルバドル駐在員事務所移転を決定。(AH・JT)
1・24	メキシコ	三井造船、メキシコ市に駐在員事務所開設を発表。(NI)
1・24	ブラジル	東洋紡績、三菱商事、東洋クロスとの共同出資による合成皮革メーカー、インパサ社の資本金を350万ドル増資を表明。(NK・NS)
1・26	ブラジル	サンパウロのパウリスタ製鉄(コジッパ)、日本向けに圧延鋼板1万3千トン、5千7百万クルゼイロ(約5億7千万円)を輸出。 (NS)
1・28	ガイアナ	日商岩井、ボーキサイト産業開発会社(BIDCO)とボーキサイト5万トン、供給期間1年間の契約結ぶ。(NI)
1・29	メキシコ	住友、東海、太陽神戸銀行、パークレー・バンク・インターナショナル、ドレスナーバンクの5行、メキシコ石油会社「ペメックス」向け1億2,500万ドルの協調融資に調印。(NI・NS)
1・29	ベネズエラ	世界フライ級チャンピオン、ベツリオ・ゴンサレス、同級10位大

1・30	ブラジル	熊正二に引き分けで二度目の防衛に成功。(浜松) (AH) パラナ州ロンドリーナ市のベルナッチ市長夫妻ら、東洋繊維三原工場を見学。(NI)
1・30	ブラジル	日系移民、マナブ・マベ氏の絵画53点(20億円相当)を積み込んだ、成田発ロサンゼルス行き、バリグ・ブラジル航空貨物機が遭難。(AE・ME・AH・YU・NK)
2・2	メキシコ	三菱電機、メキシコ最大の冷蔵庫コンプレッサーメーカー、コマサ社への出資比率引上げを決定。(NK)
2・2	アルゼンチン	パタゴニア沖でトロール漁展開中の日本連合(水産5社)西ドイツなどと共同で基地建設を表明。(NK・NS)
2・4	ペルー	日本・ペルー石油が融資買油の形で開発した原油の対日輸出(日量3万バレル)が決定。(NK)
2・5	ブラジル	日本冷蔵の水産加工工場、アマゾナス食品工業工場が完成。(NS・NK)
2・5	ブラジル	羽田空港救難調査本部、消息不明のバリグ・ブラジル航空貨物機の捜索打ち切りを決定。(YU・AH・NK)
2・6	ブラジル	サンパウロ警察署、2日夜、麻薬密売の移民邦人射殺を発表。(AE・YE・ME)
2・9	ブラジル	ブラジル連邦共和国、300億円の円建て債発行、引き受け証券会社(幹事 野村証券)と調印。(NK)
2・9	ペルー	サンチェス・エネルギー・鉱業相の石油増産及び余剰分を日本と米国に輸出を発表。(NK・JT)
2・9	パナマ	林兼造船、シリアス・キャリヤーズ社向け冷蔵貨物船を引き渡す。(NS)
2・13	ブラジル	日新電機、電力会社チェスフ(コンパニア・イドロ・エレクトリカ・ド・サンフランシスコ)から変流器約200台受注を表明。(NK)
2・15	ベネズエラ	三菱重工、インターアルミナ社ガイアナ工場向け橋形クレーン式アンローダー2基を受注。(NS)
2・15	アルゼンチン	タンゴ界の巨匠オスワルド・プグリエーセ楽団を率いて来日、20日から公演。(YE・YU)
2・19	パナマ	パナマ国家警察隊司令官ら、大平首相を表敬訪問。(YU)
2・20	ブラジル	日本政府、フィゲイレド新大統領就任式に三木元首相を政府特使として派遣を決定。(NK)
2・20	ブラジル	東拓工業、合弁企業カナフレックス・ド・ブラジルの生産能力倍増に乗り出す。(NS)
2・21	キューバ	駐日ホセ・アルマンド・ゲーラ大使、支倉常長の墓参兼ね仙台を訪問。(YE)

2・22	メキシコ	旭硝子、メキシコ、韓国の板ガラスメーカー3社間で、ガラス製法技術、付帯設備輸出契約に調印。(NS)
2・23	ブラジル	電電公社テレプラスとの交換機商談に敗退した日本電機、パートナー企業ドカス・デ・サントス社とともに大統領府に行政不服審査申し立てを決定。(NK・NS・NE)
2・26	ブラジル	村田機械、繊維機械メーカー、ベルコーネ社を買収。(NS)
2・27	メキシコ	石油連盟、石油事情調査団を派遣。(NS)
2・27	ドミニカ共和国	フランシスコ・ベーニア・ドミニカ革命党書記長、大平首相を表敬訪問。(NK)
3・2	コロンビア	日本大使館に地雷、爆破未遂。過激派の犯行か不明。(AH・JT)
3・6	アルゼンチン	トヨタ自動車工業・同販売、1月の自動車輸入解禁令の公布、完成車の輸入許可に伴い、輸出開始を表明。(NS)
3・9	メキシコ	経団連とメキシコ政府四人委員会、鉄鋼コンビナート建設協力等で合意。対メキシコ協力具体化へ。(YU・NK・AH)
3・9	セント・ルシア	日本政府、閣議でセント・ルシアの独立を承認。(YE・NE)
3・9	パナマ	外務省人事。駐パナマ大使山口広次氏を駐レバノン大使に。(NE・AH・YE)
3・11	ブラジル	三木元首相夫妻、政府特使としてフィゲレード新大統領就任式出席のため出発。(YU・AH・JT)
3・13	ペルー	国際ペンクラブ会長、マリオ・バルガス＝ジョサ氏来日。(YE)
3・14	エルサルバドル	合併企業「インシンカ」の鈴木考和さんを誘かいしていた左翼ゲリラFARN鈴木さん近日解放を予告。(AE・YE・YU・NE・ME)
3・14	アルゼンチン	ジュニア・ミドル級選手権で、工藤政志 マヌエル・ゴンザレスに判定勝ち、2度目の防衛に成功。(東京)(MN・AH・JT)
3・15	メキシコ	積水化学工業と丸紅、現地資本と共同設立のセレメックスの現地側所有株式全株買収、積水化学から社長を派遣。(NS・NK)
3・16	アルゼンチン	新日本電気、フィルコ・アルヘンチーナ社と資本参加含み業務提携に合意。(NS・NK)
3・18	ブラジル	第一勸業銀行、太陽神戸銀行共同主幹事の国際協調融資団12行、鉄鋼公社シデルプラスに1億ドルの融資を決定。(NK)
3・20	ブラジル	田村電機製作所の現地法人ダルマ通信工業株式の切り替え完了、“ブラジル化”を達成。4月からブラジル資本の合併会社。(NS)
3・21	エルサルバドル	エルサルバドル政府、「インシンカ」の鈴木さん誘かいのゲリラ組織FARNの要求のみ政治犯44人を釈放。(AE・NE・YE)
3・23	ペルー	外務省、対ペルー円借款約100億円の返済開始を3年間延期で合意、正式調印を発表。(ME・YU)
3・24	ペルー	日本政府、ペルー政府の要請で債務救済措置を決定、リマで書簡交換。(NE)

3・24	ベネズエラ	三井物産と三井石油化学工業、フランスのCDFシミー社と国策石油化学会社プラスティコス・デル・ラゴ社に資本参加、ポリエチレン製造で合弁。(NE)
3・25	ペルー	移住80周年記念の日本人会から「ペルー第1回移民訪日団」一行13人が里帰り。(NK・YE・MN)
3・27	ペルー	訪日ペルー移民団、皇太子ご夫妻と会見。(YU・MN・JT・AH)
3・29	メキシコ	富士銀行含む国際銀行団72行、メキシコ電力会社に総額6億ドルの協調融資、パリで契約に調印。(YU)
3・30	メキシコ	国際電信電話(KDD)、メキシコ宛国際テレックスの自動化を開始。(NS)
3・31	エルサルバドル	反政府ゲリラFARNに誘かいされていた合弁企業「インシンカ」社の鈴木さん114日ぶり解放。(YU・ME・AE・JT・NK・AH・MN)
4・2	ブラジル	三菱重工、コペスル社から火力発電用ボイラー、総額約100億円受注を発表。(NK)
4・8	パナマ	世界ジュニアフライ級チャンピオン具志堅用高同級7位アルフォンソ・ロペスにKO勝ち。(東京)(AH・JT)
4・10	ベネズエラ	マチャード能力開発相、大平首相を表敬訪問。(NK・AH・MN)
4・10	メキシコ	石田石油連盟会長、メキシコ原油直接輸入に積極的な発言。(NK・MN・YU)
4・11	ブラジル	三菱重工、ブラジル・ウジミナス社から受注のイパチング工場向焼結設備第3号完成、納入を発表。(NI)
4・13	メキシコ	埼玉県庁、メキシコ州との姉妹提携調印をひかえ、メキシコ州コーナーを設置。(NK)
4・14	キューバ	サクラ精機、キューバ医療公団と技術者交換協定を結ぶ。(NS)
4・16	チリ・アルゼンチン・ブラジル	外務省人事。在チリ大使館参事官に松隈和馬通産大臣官房秘書課付、命帰国、谷仁在ブラジル大使館一等書記官、柘植方雄在チリ大使館参事官。(MN)
4・16	トリニダードトバコ	日本電気、国営電話会社から電話局用電子交換機を総額25億円で受注。(NK)
4・17	エクアドル	明電舎、三菱重工業、キトー電力からキトー第2発電所建設、総額60億円を受注。(NI・NS)
4・20	パラグアイ	連続保険金殺人事件犯人、長崎正恭、小谷良樹、16日入国し、ヤミで永住権を取得。(ME・AH・JT・YU)
4・21	ブラジル	安川電機製作所、産業用重さ検出器60台の輸出契約結ぶ。(NS)
4・24	チリ	ケリー経済相、大平首相を表敬訪問。(NK・YU・AH)
4・25	アルゼンチン	第6回日亜経済合同委員会、ビデラ大統領訪日の意向、パタゴニア沖漁業開発の認可等、共同声明発表。(NK・JT)
4・26	メキシコ	日本人登山家3人最高峰ピコ・デ・オリサバ峰登山中行方不明。(AE)

5・1	ブラジル	小野薬品、合弁会社キタクロンの株売却ブラジルから撤退。(NK)
5・1	ジャマイカ	日本輸出入銀行、ジャマイカ中央銀行に対して、20億円を限度とする貸付契約に調印。(NI)
5・2	ブラジル	保険金殺人事件犯人、長崎と小谷潜伏先を警官に急襲され、銃撃戦の末自殺。(ME・YU・AH・NK・MN・JT)
5・2	メキシコ	日本石油、メキシコ原油を長期安定的輸入の意向を表明。(NS)
5・5	ベネズエラ	東京芝浦電気、ベネズエラ電力庁から水車発電機を約20億円で受注。(NS・NK)
5・5	メキシコ	経団連、日本鉄鋼連盟、鉄鋼業拡張への協力問題話合いのため、使節団派遣。(NK・NS)
5・10	メキシコ	川崎重工、HYL(ヒルサ)社と直接還元鉄製法の技術導入契約を結び、プラントに本格進出を発表。(NI)
5・14	メキシコ	メキシコ日産自動車、生産累計30万台突破。(NS・NI)
5・14	コロンビア	東京芝浦電気、水車発電機14台約110億円受注を発表。(MN・NK・NS・AH・JT)
5・15	ブラジル	日伯紙パルプ資源開発、日伯合弁企業セニブラの資金不足に日本側の協力を要請。(NK)
5・18	ブラジル	駐ブラジル大使に大口信夫駐サウジアラビア大使。(YE)
5・18	メキシコ	民族系石油会社6社、「メキシコ石油輸入協議会」設立で合意。(NK・YU)
5・21	アルゼンチン	東京銀行、同行幹事の協調融資団(銀行4行、生命保険会社7社)、アルゼンチン国営製鉄所に対し、総額80億円の円建融資に調印を発表。(NK)
5・25	メキシコ	新日本製鉄、ラサロ・カルデナス臨海工業地帯のシカルツァ製鉄所拡張計画に技術協力で合意を表明。(AH)
5・27	チリ	日本政府、対チリ親密化政策を打出し、外交政策を転換。(AH・JT)
5・29	ブラジル	川崎製鉄、昨年10月末調印のツバロン製鉄所「設備機器・役務供給基本契約」発効、建設工事本格化。(NS・NK)
5・30	ブラジル	共英製鋼、合弁会社シデパール社をインドウストリア・エ・コメルシオ・ジオヴァニニ・エス・エー社に売却。(NS)
6・1	アルゼンチン	三菱自動車工業、完成車輸入禁止令の解除に伴い、A・J・アルマンド社と総販売店契約を結び7月輸出開始を発表。(NK・NS)
6・1	メキシコ	「メキシコ原油輸入協議会」に、新たに7社が参加。(NK・NS・AH)
6・2	ブラジル	サンパウロ東洋街で七夕祭り開始。仙台から応援駆けつける。(NK)
6・8	メキシコ	ソニー・マグネ・プロダクツ、テープ製造会社「マグネティコス・デ・メヒコ」設立を発表。(AH・NK・NI)

6・8	メキシコ	古河鉱業、銅精錬所建設に参加を発表。(NI・NK)
6・9	ブラジル	日系企業組織のブラジル日本商工会議所、「中小企業委員会」新設。(NS)
6・11	メキシコ	日本石油、カルテックス・ペトロリアム社にメキシコ原油供給要請を表明。(NS・NK)
6・12	ブラジル	日本アマゾンアルミニウム社、ブラジル現地法人2社と総額57億円の融資契約に調印。(NK・AH)
6・13	ニカラグア	内戦激化のため日本大使館、在住邦人18人の引き揚げを決定。(YE・AH)
6・14	コスタリカ	東京芝浦電気、イネルコ社に資本参加近く調印を発表。(NK)
6・16	アルゼンチン	東京銀行ブエノスアイレス支店、住民の反対でビル建設地を変更。(MN)
6・19	ブラジル	幹事行、三井銀行の国際協調融資団(3行)、米州開発銀行とミナスジェライス州電力公社に8,800万ドルのドル建協調融資に調印。(NK)
6・20	アルゼンチン	世界ジュニアミドル級チャンピオン工藤政志、同級4位マヌエル・ゴンサレスとの再戦でKO勝ち。(四日市)(AH・JT)
6・21	ブラジル	オリエント時計、オリエント・レロジ奥斯・ダ・アマゾニア・リミタダ社を設立、稼働開始を発表。(AH・NS・MN)
6・21	アルゼンチン	ダイハツ自動車販売、ドンペックス社と総販売店契約を結び、7月販売開始を発表。(AH・NS・YU)
6・21	パナマ	林兼造船、長崎造船所でカリナ・キャリアーズ社向け貨物船(18,000重量トン)を起工。(NS)
6・23	ペルー	工業技術院・公害資源研究所、ペルー国立研究所と低品位複雑銅の選鉱技術開発の共同研究に乗り出す。(NI)
6・25	ブラジル	富士通、ブラジル・ブラデスコ銀行から超大型電算機受注を発表。(NK・AH・NS・YU)
6・27	ラ米	三宅衆院副議長団長の政治経済事情視察団メキシコへ出発。パナマ、ブラジル、ペルー等訪問予定。(AH)
6・30	メキシコ	積水化学工業、フォメント・デ・インドゥストリア・コメルシオ社と発泡ポリエチレン製造販売の合弁会社設立契約を結ぶ。(NK・NS)
7・2	メキシコ	メキシコ石油公社(ペメックス)イグナシオ・レオン副総裁来日。(NK)
7・2	メキシコ	東京銀行、米国法人東銀信託とメキシコ国立開発銀行が信託基金設立を発表。(YU・JT)
7・3	メキシコ	江崎通産相、レオン・メキシコ石油公社副総裁と会談、原油の長期輸入、政府間契約で基本的に合意。(MN・NK)
7・3	メキシコ	東京銀行主幹事とする銀行団、メキシコ石油公社間で1億2,500

		万ドル、日本長期信用銀行主幹事とする邦銀6行との間で1億ドルの協調融資に調印。(NK・AH・JT)
7・3	ジャマイカ	日本政府、水害に対して総額5,000万円の救援物資の緊急援助を決定。(AE・JT)
7・8	メキシコ	日本興業銀行、メキシコ石油公社ペメックスに対して5,000万ドル融資に調印。(NK)
7・11	ウルグアイ	ラプラタ川上流ウルグアイ川に、三菱重工、石川島播磨重工業受注の多目的ダム用サルトグランデ水門扉が完成。(NS)
7・17	ペルー	「ペルーアンデス学術登山隊」、最高峰ワスカラン(6,768m)登頂に成功。(NK)
7・18	コロンビア	東京銀行、ボゴタ市に駐在員事務所開設。(NK)
7・20	メキシコ	通産省、GG(政府間取引)原油長期輸入のための経済協力等の基本方針固める。(YU・NK・JT)
7・22	メキシコ	通産省、天谷資源エネルギー庁長官を派遣。(NK・JT)
7・24	メキシコ	信越化学工業、塩ビメーカー、プリメックス社に塩ビ樹脂製造技術を供与。(NS・NK)
7・24	ニカラグア	日本政府、総額2,000万円の緊急援助を決定。(MN)
7・31	ニカラグア	日本政府、新政府「国家再建評議会」承認を決定。(AE・NK)
8・3	ブラジル	ミス・ブラジル二世、佐藤イレネ幸子さん大平首相を表敬訪問。(AH・NK・YU・MN)
8・4	メキシコ	近畿車輛、メキシコ国営車輛製造(CNCF)から客車35両、総額約20億円を受注。(NS)
8・7	コロンビア	沖電気工業、無線通信システムを9億1千万円で受注。(YU・NS・NI・JT)
8・7	メキシコ	天谷通産省資源エネルギー庁長官、原油交渉のためメキシコに出発。(NK・MN)
8・10	メキシコ	富士銀行、メキシコ市に駐在員事務所を開設。(NK・NI)
8・10	ブラジル	渡辺農相、日伯閣僚協議会出席のため出発。(YU・NE・JT)
8・10	メキシコ・ブラジル	江崎通産省、メキシコ、ブラジル、アメリカ歴訪のため出発。(AH・YU・NI・NK)
8・12	ラ米	園田外相、中南米(メキシコ、ブラジル、ペルー、チリ、アルゼンチン、ベネズエラ)歴訪へ出発。(MN・YU・AH・NK)
8・13	メキシコ	江崎・園田両相、ロペス大統領と会談、対日輸出原油、日量10万バレルで合意。(YE・AE・ME・NE・JT・AH)
8・14	メキシコ	ロペス大統領、アレホ・ロペス・メキシコ国営ディーゼル公社総裁を新駐日大使に任命。(NE・YU・ME・AE)
8・14	メキシコ	江崎・園田両相、経済技術協力でメキシコ政府と合意を表明。(MN・YU・NK)

8・14	ブラジル	神戸製鋼、ブラジル国営製鉄所(CSN)から空気分離装置自動制御型受注を発表。(NS)
8・15	ブラジル	園田・江崎両相、ブラジルに到着。(YE・AE・ME・NE)
8・15	ブラジル	多田野鉄工所の子会社タダノ・インドゥストリア・エ・コメルシオ・リミタダ、トラッククレーンの本格的現地生産開始。(NS)
8・15	ブラジル	ウジミナス第3期拡張商談の受注状況まとめの結果、製鉄プラント業界、合計54件、453億円受注。(NS・NK・JT)
8・16	ブラジル	第2回目伯閣僚協議会開始。貿易不均衡是正、経済協力等で合意を表明。(NE・NK・YE・ME・YU・AE)
8・17	ペルー	ペルー移住80周年記念で、友好親善の功労者、ペルー人4人、在留邦人24人叙勲。(NK・MN・YU)
8・17	ブラジル	フィゲイレド大統領、園田外相の訪日要請を受諾。(NK・AH・YU)
8・17	ブラジル	園田外相ら、関係閣僚と個別折衝、パルプ合弁事業「セニブラ」増資に応じる農林中金、ブラジル国立信用金庫(BMCC)に100億円融資を決定。(NE・ME・AE・JT・YE)
8・19	ペルー	日系移民80周年記念式典開催、園田外相、リヒター首相も出席。(ME・AE・NE・MU・YE・YU)
8・19	アルゼンチン	日立造船、海洋庁から漁業調査船1隻、14億円を受注。(NS)
8・20	ペルー	園田外相、モラレス大統領表敬訪問後、ガルシア外相、シルバ経済・財政相と会談、約76億円借金を約束、技術協力協定等に調印。(NE・AE・ME・YE・JT)
8・21	チリ	園田外相、クビジョス外相と会談後、ピノチェット大統領を表敬訪問、同大統領訪日要請を受諾。(YE・ME・NE・JT・AE)
8・21	ホンジュラス	日本政府、対発展途上国の経済援助倍増策の一環として、世界銀行と、ホンジュラスとセネガルに総額100億円の協調融資決定。(YU)
8・22	チリ	チリ政府、8億ドルの円借款、チリ産果実の輸入自由化、文化協定の締結を要請、園田外相、検討を約束。(ME・YE・NE・AE・JT)
8・23	アルゼンチン	園田外相、ビデラ大統領と会見。同大統領、経済・技術協力を要請。(NE・JT・AE)
8・24	メキシコ	東京銀行、三菱銀行主幹事とする邦銀19行、メキシコ政府の連邦電力委員会(CFE)と計2億ドルの借款契約を結ぶ。(YU・JT)
8・25	ブラジル	園田外相、リオデジャネイロ近代美術館に佐藤太清画伯の「牡丹」を寄贈。(YU・AH)
8・27	ベネズエラ	エレラ・カンピンス大統領、大平首相の訪日招請のメッセージ受諾。(NK)
8・27	ブラジル	外務省人事。命帰国、駐リオデジャネイロ総領事石井亨。(YU)
8・28	メキシコ	三井物産、ペトロセル社、テレフタラトス・メキシカノス社と提携、

			テレフタル酸の独占輸出を表明。(NK)			
8・29	チ	リ	東京銀行と米国シティバンク主幹事の国際銀行団チリ電力庁(ENDESA)に8,100万ドルの融資に調印。(NK)			
9・5	パ	ナ	マ	カルボ駐日大使、永野重雄日本商工会議所会頭通じ、第二パナマ運河建設推進を政府に要請。(NK・AH・MN)		
9・6	エ	ク	ア	ドル	住友金属工業、三井物産、現地メーカー等と合弁会社「コルジット・エクアドル」設立、来年から小径電線管製造を発表。(NK)	
9・6	コ	ロ	ン	ピア	世界ジュニアフェザー級チャンピオン リカルド・カルドナ、同級7位瀬川幸雄に判定勝ち。(八戸)(AH)	
9・10	ブ	ラ	ジ	ル	住友アルミニウム製錬、アルキャン・ブラジル社と製錬技術の輸出契約を結ぶ。(NK・NI・YU)	
9・12	メ	キ	シ	コ	近畿車輛、国営車両製造会社CNCFに客車製造技術・ノウハウを供与。(NK)	
9・17	メ	キ	シ	コ	メキシコ政府高官、自動車工業会メンバー一行、日産自動車座間工場等を視察。(NS)	
9・18	ペ	ル	ー		国営製鉄所ジデル・ペルー、合同製鉄に技術指導要請、近日契約に調印。(NS)	
9・21	アル	ゼン	チン		外務省、ビデラ大統領夫妻10月8日訪日決定を発表。(NE・AH・JT)	
9・21	ペ	ル	ー		東大の「核アメリカ学術調査団」ペルー北部の「ワカロマ」遺跡の発掘に成功。(MN・AH)	
9・21	ドミニカ共和国・ ドミニカ国				日本政府、ハリケーン被災救援のためドミニカ国に1,500万円、ドミニカ共和国に1億円の食糧、医薬品等の緊急援助決定。(NE)	
9・26	チ	リ			「第一回日本・チリ経済委員会」、資源開発、経済協力等の共同声明を採択し、閉幕。(NK・MN)	
9・28	ブ	ラ	ジ	ル	国際協力事業団、ブラジル中央銀行間でセラード地帯農業開発協力の事業に対する51億2,500万円の融資契約に調印。(ME・AH・YU・JT)	
9・29	アル	ゼン	チン		ビデラ大統領、訪日を前に日本記者団と会見、両国経済協力の具体的促進、内政等の見解を表明。(MN・AH・JT)	
10・1	ベ	ネ	ズ	エ	ラ	昭和軽金属等日本企業6社参加のインドゥストリア・ベネソラーナ・デ・アルミニオ社に日本側45億円を追加出資。(NE)
10・1	パ	ナ	マ		大平首相、新パナマ運河条約発効でカーター米、ロヨパナマ両大統領に祝電。(AH・NK)	
10・2	メ	キ	シ	コ	埼玉県とメキシコ州、浦和市とトルーカ市姉妹提携に浦和市で調印。(NK)	
10・4	ブ	ラ	ジ	ル	日本電気、ブラジル政府通信省から電子交換機の供給メーカー指定に伴い、近く現地合弁企業設立を発表。(AH・YU・NK・NS)	

10・6	メキシコ	日本長期信用銀行主幹事の国際協調融資団（日米欧）、メキシコ電力委員会CFEに総額1億ドルの融資、9日に調印。（NK）
10・8	アルゼンチン	ビデラ大統領夫妻来日。（AE・YE・ME・JT）
10・8	アルゼンチン	ビデラ大統領夫妻を迎え、天皇陛下が宮中晩さん会。（NK・YU・JT）
10・8	アルゼンチン	日本輸出入銀行、アルゼンチン国立銀行に100億円限度にバンクローン供与、調印を発表。（NK・JT）
10・8	メキシコ	石油業界、商社、金融機関等から成る、メキシコ石油ミッション出発。（NK）
10・9	パナマ・チリ	駐チリ大使に、赤谷源一外務省大臣官房付、駐パナマ大使に、石井亨在リオデジャネイロ総領事。（YE・ME・AE・NE）
10・9	アルゼンチン	アルゼンチン国立銀行、東京に支店開設。（JT・NK）
10・11	アルゼンチン	大平首相、ビデラ大統領第2会談、政治・経済関係の強化で合意、共同声明発表。 「日本・アルゼンチン文化協定」「日本・アルゼンチン技術協力協定」に調印。（ME・AH・NE・NK・JT・YE）
10・12	アルゼンチン	全国農業協同組合連合会、アルゼンチンの協同組合連合会（ACA）、農業協同組合連合会（FACA）と技術・資金協力促進等の合意書に調印。（YU）
10・15	メキシコ	永山石油連盟会長、メキシコ訪問の際原油輸入に仮調印を発表。（YU・NK・AH）
10・16	ペルー	友好親善に寄与の功績で、三原総務長官にペルー政府より功労勲位大十字章。（MN）
10・22	コロンビア	ヤマハ発動機、合弁会社「インドゥストリア・コロンビア・デ・モトシクレタスS. A.」設立を発表。（NS）
10・23	セントビセント・グレナディーン諸島	日本政府、27日の独立と同時に承認を決定。（YE・NE・MN）
10・24	ラミ	日本溶接棒工業会、ブラジル、ペルー、メキシコに海外調査団を派遣。（NS）
10・24	ブラジル	毎日新聞社、リオデジャネイロ近代美術館再建運動に1万ドル寄贈。（MN）
10・25	キューバ	第4回日本・キューバ経済会議、貿易・資金協力等の議定書に調印、閉幕。（MN）
10・25	ブラジル	富士銀行、ブラジル南米銀行グループの南米リースに資本参加を発表。（NK）
10・26	メキシコ	「メキシコ石油輸入」発起人会開催。社長に永山時雄石油連盟会長就任。（MN）
10・28	ブラジル	消防ミッション、ブラジリア消防庁と消防訓練センター建設協力で合意。（NK）

10・30	ブラジル	日伯合弁のウジミナス製鉄のロンドン・パチェコ社長、日本側に増資を要請。(YU・NS)
11・1	アルゼンチン	フラギオ駐日大使、ビデラ大統領のプレゼント、超小型種馬(ポニー)二頭を皇太子ご一家に贈呈。(AH)
11・5	アルゼンチン	作家ホルヘ・ルイス・ボルヘス氏国際交流基金の招待で初来日。(YE・AE・TK)
11・5	アルゼンチン	日本政府、官民合同の経済調査団派遣を表明。(YU・NS・MN)
11・6	チリ	外務省辞令、免駐チリ特命全権大使山下重明。(MN)
11・6	トリニダードトバゴ	日本、英国等先進6ヶ国に病院・港湾改修等建設工事請け負い要請。(NS・NK)
11・8	ブラジル	経団連訪伯使節団、リオデジャネイロ市に集合、訪問スタート。(NS)
11・9	メキシコ	三菱電機、合弁会社メルコ・デ・メヒコ社の新工場完成を発表。(YU・NS)
11・12	メキシコ	松下電器産業、アウトラン社との合弁で乾電池製造会社「パナソニック・アウトラン電池」年内設立を発表。(NK)
11・19	メキシコ	原油輸入窓口「メキシコ石油輸入株式会社」正式に発足。(YU・MN・NK・JT)
11・21	メキシコ	川崎製鉄グループ、三菱商事グループと共同出資でマタモロス市に「マタモロス鋼板加工会社」年内設立を発表。(NK)
11・21	ブラジル	日本債券信用銀行、東海銀行共同主幹事でパラナ電力会社向け総額6,000万ドルの協調融資にニューヨークで調印。(AH・YU・JT)
11・23	ボリビア	初の女性大統領リジア・ゲイレル女史、社会福祉相に日系二世エルパ・オーハラさんを選出。(AH)
11・26	パナマ	永野日本商工会議所会頭、グラベル米上院議員モルガン・パナマ大統領特使ら、大平首相に第二パナマ運河構想の政府協力を要請。首相、検討の意向を示す。(MU・NK)
11・26	メキシコ	日本ビクター、アルファ・グループ社とVHS方式のビデオ・テープレコーダーのOEM(相手先ブランドによる)供給契約を結ぶ。(AH・NS・NK・JT)
11・29	エクアドル	バリーガ駐日大使、同国国会議員5人と大平首相を表敬訪問。(NK・AH・MN)
11・29	コロンビア	川崎製鉄、アセスコ社から連続亜鉛メッキライン一式受注を発表。(NS)
11・29	メキシコ	東京芝浦電気とトーマン、国営バス製造会社MASA社向、サイリスタ利用の電流調整器500台分、総額約2,500万ドル受注を発表。(NS)
11・30	ニカラグア	新政権代表の「国家再建評議会」(5人委)メンバーのビオレタ・

		デ・チャモロ女史、記者会見で国内問題、復興援助の要請等を表明。 (MN・AH・NK)
11・30	プエルトリコ	日本ゼオン、三菱商事イソプレン事業立て直して仏米企業と基本的に合意。(NS・NK)
12・3	アルゼンチン	日本水産、大洋漁業、日魯漁業の3社、パタゴニア沖トロール漁基地建設のため12月中旬調査団派遣。(NS・NK)
12・3	チリ	フランス亡命中の歌手イサベル・パラさん来日記念してチリ人民連帯日本委員会主催で「ピノチェト来日反対集会」開催。(MN・YE)
12・4	パナマ	青木建設、水資源電力公社から発電用ダムの第一期建設工事を受注。 (NK)
12・8	キューバ	湯浅電池、技術資材供給国家委員会、国営工場と鉛蓄電池生産の業務提携で合意。(NS・NK)
12・8	メキシコ	鬼怒川ゴム工業、現地生産進出方針を固める。(NK・NS)
12・11	メキシコ	メキシコ石油輸入株式会社、メキシコ石油公社と原油の長期供給契約結ぶ。(AH・YU)
12・11	アルゼンチン	「タンゴの日」にちなみ、東京で「タンゴ'79」「タンゴ映画の夕」開催。(AE・YE)
12・12	アルゼンチン	三井銀行、ブエノスアイレスに駐在員事務所開設。(NK)
12・14	エクアドル	駐エクアドル大使に安井芳郎駐イタリア公使。(NE・YE・AE・ME)
12・14	トリニダードトバコ	日産自動車、商用車650台受注。(NS)
12・15	キューバ	上村工業、プリント板用メッキ設備(約1億円)を受注。(NS)
12・17	パナマ	大和銀行、来年1月8日付駐在員事務所開設を発表。(NK・MN)
12・17	ブラジル	アルプス電気、新工場建設が決定。(NS)
12・18	メキシコ	アレホ駐日大使、大平首相を訪問、着任あいさつ、ロペス大統領からの伝言として首相のメキシコ訪問を招請。(AH・YU・NK・MN・JT)
12・20	パラグアイ	戸田建設、農牧省から農林総合開発センター建設工事受注。(NS)
12・21	ラ米	外務省人事。中南米局長に大鷹正、参事官に色摩力夫。兼駐グレナダ大使中山昭駐トリニダード・トバゴ大使。 免駐トリニダード・トバゴ大使兼務、野村豊駐ベネズエラ兼グレナダ大使。(AH・MN・AE)
12・25	ブラジル	日本移住者2世、訪日研修団100人来日。(NK・AH)
12・25	メキシコ	サントリー、メキシコ市にラーメン店「エル・コシネリート」を開店、営業開始を発表。(YU・NK・JT)
12・25	チリ	日本人乗客40余人含む、南極観光船座礁、チリの「ピロト・パルド号」が救出。(YU・MN・AH・JT・NK・YE)
12・26	ブラジル	農林中央金庫、ブラジル銀行東京支店に総額100億円の農業開発

12・27	ブラジル	資金融資、調印。(NK) 前巨人軍監督、川上哲治氏ブラジル体育連盟の招請で少年たちの野球教室開催のため出発。(YU)
12・28	ブラジル	ブラジル大使館主催、作曲家ヴィラ＝ロボス没後20年記念コンサート開催。(YE)
12・28	パナマ	金指造船所、グラシェラ社向けプロダクト・オイル・タンカー「ブルタミナ1022」引き渡す。(NS)
12・28	ペルー	リマ市の財団法人「天野博物館」に、日本政府より3,000万円の補助金が決定。(YU)
12・29	メキシコ	神戸製鋼所、鑄鍛鋼工場建設プロジェクト推進の窓口となる合弁会社「グルボ・インドゥストリアル・NK S」を設立。(NK・JT)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE
日本経済	NK	NE
日経産業	NS	
ジャパントイムズ	JT	
日本工業	NI	
東京	TK	